

## 算数科 における 資質・能力の育成を目指した 授業づくりのポイント

単元名「比例をくわしく調べよう」  
～比例・反比例の判別～



### 新学習指導要領における位置づけ

第6学年 [C 変化と関係]

(1) 伴って変わる二つの数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 比例の関係の意味や性質を理解すること。

(イ) 比例の関係をを用いた問題解決の方法について知ること。

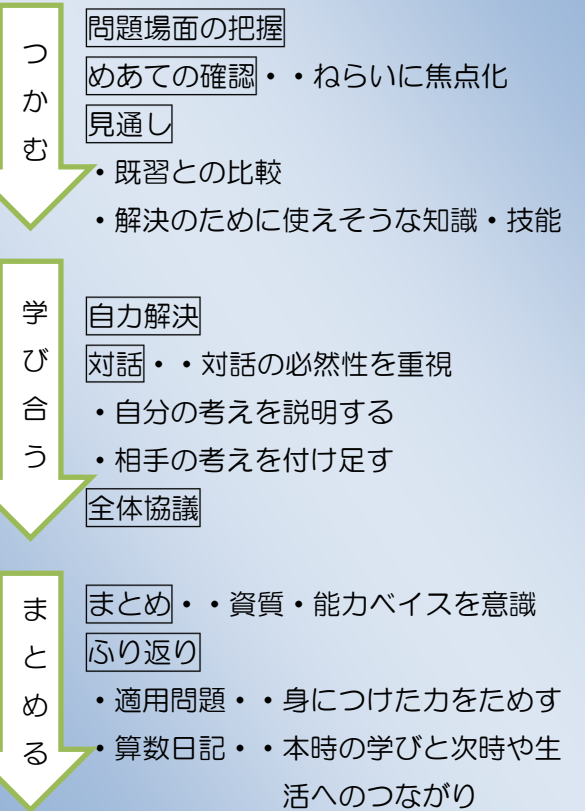
(ウ) 反比例の関係について知ること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

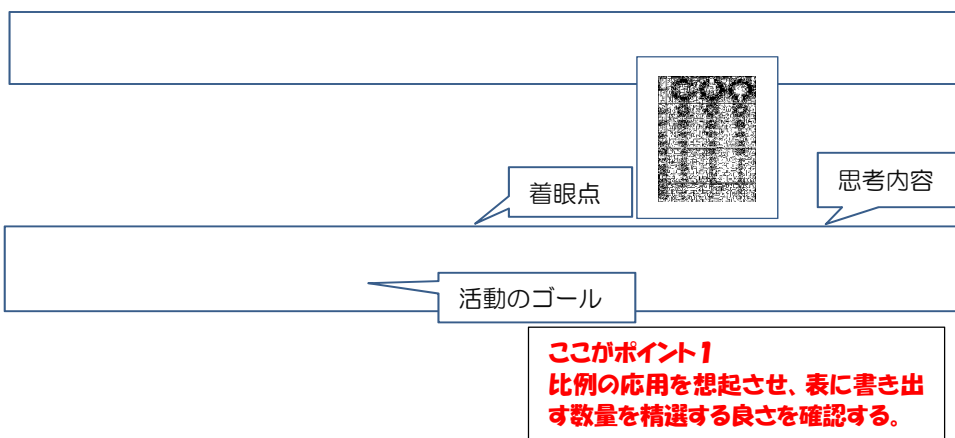
(ア) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かすこと。

### 主体的・協働的な学びを実現させる

#### 授業構造図



第一次	3時間	○比例の式	→	第一次	6時間	○比例と反比例の式と性質 ・比例の式と比例の性質 ・反比例の式と反比例の性質
第二次	1時間	○比例の性質		第二次	5時間	○比例と反比例のグラフ ・比例のグラフ ・反比例のグラフ
第三次	4時間	○比例のグラフ ・グラフの特徴 ・グラフの利用		第三次	2時間	○比例と反比例の利用 ・比例の利用 ・反比例の利用
第四次	3時間	○比例の利用		第四次	3時間	○まとめ ・比例と反比例の判別(本時) ・習熟
第五次	5時間	○反比例 ・反比例の式 ・反比例の性質 ・反比例のグラフ				
第六次	2時間	まとめ ・習熟				



協議で出なかった方法も確認する。

**ここがポイント2**  
ここまでの活動を通して今後の活動に見通しを持てるようにする。